

難燃薬剤析出対策 & 不燃材料認定

モーエン3 シリーズ

[二液型ウレタン難燃性クリアー塗料]

【 特 徴 】

1. 塗料に含まれる新採用の成分が木材への通気を遮断し、空気中の水分により起こる『白華現象（難燃薬剤注入木材の表面へ薬剤が析出する現象）』の抑制効果が向上しました。
2. 浸透性の高い樹脂を採用し、木材中の難燃薬剤の動きを抑える効果を持たせました。
3. 国土交通省不燃材料認定（認定番号 NM-5152）を取得した、燃焼時の発熱量が少ない塗膜をつくれます。
4. シックハウス症候群の原因とされる、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレンを一切含みません。F☆☆☆☆登録商品です。

【 用 途 】

天井、壁板、柱など木部内装全般および半屋外（常に直射日光や雨が当たる場所以外）

【 薬剤析出抑制効果写真 】 準不燃木材上塗装 2 年経過

				
モーエン3	一般ウレタン塗料	モーエン3	他社白華抑制塗料	他社白華抑制塗料

※ 薬剤の析出はほぼ見られず、白化・割れなどの塗膜劣化も見られない。

【 塗料の種類 及び 荷姿 】

モーエン3 シーラーA液	3. 7 5 k g / 1 5 k g
モーエン3 シーラーB液	3. 7 5 k g / 1 5 k g
モーエン3 フラット艶有り・艶消しA液	3. 7 5 k g / 1 5 k g
(艶有りは、クリアー光沢。艶消しは、80～100%艶消し光沢です。希釈量・塗布量で艶消し度合いは変化します。)	
モーエン3 フラット共通B液	1. 8 8 k g / 7. 5 k g

【 使用時配合 】

(シーラー) A液：B液＝1：1

(フラット) A液：B液＝2：1

※ 希釈剤は、弊社商品「NAウレタンシンナー」をご使用ください。

【 使用可能時間 】

塗料配合後、約5時間（25℃）

【 添加剤による調整 】

低温時に硬化を速くするには

CPU-26ウレタン促進剤を「A液に対して0.5～1%」加えてください。

※ ただし、使用可能時間が短くなりますのでご注意ください。

高温時に乾燥を遅くするには

CPU-2ウレタンリターダーを「塗料全体に対して2～5%」加えてください。

【 難燃薬剤注入木材（不燃木材・準不燃木材・難燃薬剤） へのモーエン3 塗装工程 】

塗装工程	使用材料	配合量	塗装方法	乾燥時間 (20℃)
素地研磨	サンドペーパー #120～#180 (白色結晶を研磨して除去) ↓ <u>水・温水で濡らし固く絞った布で 研磨粉を完全に拭き取り除去する。 表面に水分を残さないよう注意！</u>	—	難燃薬剤が木材の表面へ 結晶化（白色粉末状）して いる場合は、これを完全に 除去する事。これを残した まま塗装すると、塗装後の 塗膜上に再び結晶化して くることがあるので要注 意！	—
下 塗 り (1回目)	モーエン3シーラーA液 モーエン3シーラーB液	100 100	刷毛又はスプレー (タレない程度にたっぷ りと塗布する事！) 塗布量 80～100g/m ²	半日
	専用ウレタンシンナー 刷毛塗りの場合 スプレー塗りの場合	0～30 50～60		
下 塗 り (2回目)	モーエン3シーラーA液 モーエン3シーラーB液	100 100	刷毛又はスプレー (タレない程度にたっぷ りと塗布すること！) 塗布量 80～100g/m ²	一晩
	専用ウレタンシンナー 刷毛塗りの場合 スプレー塗りの場合	0～30 50～60		
研 磨	サンドペーパー #320～#400 ↓ 布ウエスにて研磨粉を除去	—	研磨をかけ過ぎて、下塗りを剥がさないようにする事。特に角面は要注意！！	—
上 塗 り	モーエン3フラット艶有り/艶消しA液 モーエン3フラット共通B液	200 100	刷毛又はスプレー 塗布量 60～80g/m ²	一晩
	専用ウレタンシンナー 刷毛塗りの場合 スプレー塗りの場合	0～30 100～150		

※ 必ずお読みください！！

難燃薬剤注入木材への塗装は、どうしても白化（白華）クレームの可能性がありますので、必ず上記工程で実施下さい。特に、塗布量を確保することと、裏面および木口などへの塗装は必須条件です。なお、建築現場塗装は安定した塗装環境条件を保てないため、お勧め出来ません。工場塗装にて実施ください。

！！ 注意事項 ！！

- ① 素地（不燃木材・準不燃木材・難燃木材等の難燃薬剤注入木材）が湿って、ベタベタする状態では塗装はしないでください。乾燥すると白色結晶（白華現象）となりますので、サンドペーパーで研磨除去してから塗装してください。白化（白華）クレームとなる危険性があります。
- ② 雨天等、湿気の多い時の塗装は、難燃薬剤注入木材が湿気を吸ってしまうので避けてください。
- ③ 難燃薬剤注入木材の性質上、含水率が高くなる傾向がありますので、適切な含水率であることを確認してから塗装をおこなってください。
- ④ 難燃薬剤注入木材には、様々な種類があります。塗装する木材の性質を事前に確認のうえ、塗装をおこなってください。
- ⑤ 各塗料の配合量・塗布量・乾燥時間は遵守してください。
- ⑥ 塗装完了後、もし白色結晶（白華現象）が出てくるようであれば、それは素地調整が不充分または塗膜厚が少ないことが原因ですので、サンドペーパーで白色結晶を研磨除去した後に、再び上記工程を塗装してください。
- ⑦ 下地着色をする場合は、専用着色剤「ピュアPGステイン」を使用してください。
- ⑧ 以上の条件で塗装する為には、工場塗装が必要となります。条件の良くない建築現場塗装はお勧めしません。やむを得ず現場塗装をする場合は、塗装後の白化（白華）クレーム防止対策として、事前に標準塗装見本板や塗料サンプル等を提出しますので、弊社までご相談ください。
- ⑨ 屋外または極度に高湿になる場所での、塗装や塗装物の保管はおこなわないでください。
- ⑩ 「シーラーA液・フラット艶消しA液」には、塗料中に粉状成分が混合されており、保管中に沈殿する場合がありますので、よくかき混ぜてからご使用ください。また、使用時A液・B液・希釈剤を混合した後にも、塗料中の粉状成分が沈殿する場合がありますので、塗装中も時々かき混ぜてください。
- ⑪ 「シーラーB液・フラット共通B液」は、空気中の水分と反応しやすい性質をもっている為、使用時以外は必ず密栓をおこなってください。
- ⑫ 塗装時および乾燥時は、必ず十分な換気をおこなってください。

キャピタルペイント株式会社

【本 社】
大阪府高槻市若松町8番10号
TEL : 072-672-7330
FAX : 072-672-7336
Homepage : <https://www.capitalpaint.jp>
E - mail : info@capitalpaint.jp

202506-8